

## 雜 錄

●暹羅鐵材入札 暹羅國鐵道局は今般鐵道用ボギー車及ボギー車材料其の他鋼鐵軌條及附屬物供給方に關し一般公衆より入札を以て購入する趣にて右に關する書式條件及設計圖等在盤谷三隅領事より送付し來り目下外務省通商局商報課に保管中なるに付希望の向は同課にて一覽ありたしとの事、尙入札は車輛及車輛材料は八月一日迄に鋼鐵軌條及路盤附屬物は七月三十一日迄に同國鐵道局に到着するを要する由。

●製鐵所新方針 製鐵所本年度の鋼材製作並に需要に就て葛鋼材部長は語る。

本年度鋼材の生産豫定高は四十萬噸で昨年度に比較すると約八萬噸の増加であるが之に對する原料は多量の銑を貯藏して居るから現在の熔鑛爐のみで十分である工場の方は本年度は過般増加した第二製鋼工場の新設爐を運轉せしむる筈であるから十分である去月は十日間に一萬三千噸を製作して居るから能力は十分だと思つて居る、需要の方は從來最も顧客先であつた官廳筋の内海軍省は例の軍縮の結果註文は激減する見込であるが鐵道省からは既に軌條四萬噸の註文を受けた尙同省からは車輛の材料、橋桁、車軸等約二萬噸の註文があることになつて居る陸軍省からは今度新たに防楯三十噸の註文を受けた、海軍省に對しては目下交渉中であるが其殘部約三十萬噸は何うしても一般民間に賣却せねばならぬから本年度は主として一般民間向鐵材の製作に

全力を傾倒する豫定である云々。

●東洋製鐵委任經理繼續 東洋製鐵會社の八幡製鐵所委任經理繼續は去月末日を以て滿期となる筈なるが製鐵所側に於ては工場が八幡に近接せるを以て港灣の修築熔鑛爐の改善を爲して著しく工場能率を増加せしめたる關係上引續き兼營するも損失の憂なく會社側に於ては鐵市況の現況に鑑み之を受戻し經營するも採算上の確信なく従つて兩者共委任經理の繼續を希望し先般來兩當事者間に交渉中なりしが今回議會に於て總豫算の通過と共に製鐵所特別會計の豫算も成立したるを以て右は更に向ふ一ヶ年契約を繼續する事に確定せり。

●鐵價引上後の市況 製鐵所では三月以降の需要期を控へて既報の如く鐵價の引上げを斷行したが右引上げは一般市價と同一歩調を執つたまでとさのみ市場には影響すると思はれず製鐵所では成行を樂觀して居るがそれかあらぬか三月に入つてから既に三菱より四分、十六、十八物等の契約一萬噸を見其他にも薄板の注文物が相當あるらしく岸川田中等の大手筋よりも二、三千噸乃至五千噸位の注文が發せられて居る有様である勿論之は二月中が豫想外の活氣を呈して六萬二千噸を賣上げた餘波とも見る可きであらうが兎に角製鐵所では少くとも三萬噸は下るまいと豫想されて居る米國物の脅威など多少悲觀材料もあらうが製鐵所では向ふ意氣強き状態にある。

鐵材及び銑鐵の外品入荷は殆ど見るに足らないが最近獨逸銑が非常なる安値で輸入される傾向なるが九州には大なる影響なかるべく鐵材として其の比較を見るに獨逸對日本製品は八分乃至一割方獨逸品安く米國對日本製品は四五分方米國製

品安價に當つて居て米國品最も好人氣であるが何分にも外品は直に輸入されない不便がある爲め僅々四五分方の値開きでは本邦製品を壓迫するに足らないやうである尙ほ最近注目すべきは米國の各鐵道會社が俄に材料買付を進め兎角ダレ氣味であつた市況を引締たので製鐵所は曩に米國の鐵界に應ずべく内地の市況をも參酌して幾分の値上を發表した次第である本邦に於ける銑鐵界は別項の如く需給關係から見て前途稍樂觀するに足るべく一時極度に悲觀されて價格も昨今に至つて六十圓臺を突破し従つて六十圓を割るに於ては商談に應ずるものなき有様である一般の希望する處は八十圓説なるが斯は米國、獨逸等の脅威なるを以て望み薄く先づ七十圓見當が生産諸掛りを根據として相當の値頃であらうと思はる目下各方面の情勢を綜合し七十圓説は無謀の汰沙でなく七十圓を實施するに至らば各社も再び生産増加を圖り休止中のものも操業開始を見るであらうと。

●**製鐵所の銑鐵在庫高** 製鐵所の銑鐵在庫高は十五萬餘噸あるが同所の銑鐵生産能力は目下熔鑛爐三百噸爐二基、同二百五十噸爐三基、同百五十噸爐一基合計六基で一箇月約四萬五千噸に上り、銑鐵より鋼材に精製する設備は目下の處不足なので毎月銑鐵の在庫を生じてゐると。

●**製鐵所鉞力生産** 製鐵所の調査に依る英國製ブリキ板の本邦輸入高は大正八年一萬三千二百二十二噸、同九年九千九百五十八噸、十年二萬千八百十八噸で八、九兩年に比し十年度には約二倍の輸入を見た、之に米國大陸製品等の輸入を合算すれば頗る多額に上り逐年需要増加の形勢を示して居る製鐵所では右鉞力の需要に對し國産品を供給するために鉞力

工場を新設中であつたが工事完成し既に試運轉を終つたので最近鉞力製造を開始する筈である、同工場の生産能率は黒板を合し一箇年二萬餘噸であるが本年内は不馴のため一箇月五百噸以下の製品を市場に供給し得るに過ぎまいと。

●**大冶製鐵開始** 製鐵所で需要する銑鐵一箇年約七十萬噸見當の中四十萬噸は同所並に東洋製鐵會社製造のもので差引三十萬噸の大部分は支那漢冶萍公司から長期の契約で供給を受けつゝある、然るに同公司は從來漢陽と大冶の兩所に製鐵所を有するに拘らず實際に事業を開始して居つたのは漢陽のみで而も其生産能率は銑鐵日産僅に二百噸内外である故に該需要に應じ切れざる程であつた爲めに今回新たに漢冶萍公司の技術最高顧問となつた工學博士服部漸氏は大冶製鐵所の事業開始の計畫を樹て準備中であつたが愈本月初めから熔鑛爐二基の中一基に火を入れ製造を開始し而して其日産四百五十噸であるから向後八幡への銑鐵供給は潤澤となるであらう

●**龍煙鐵山近況** 直隸省に於ける龍煙鐵山は目下新式爐及熔鑛爐建設の爲め日英の器械を購入中であるが更にセメント工場及骸炭等の大製造工場を設立する爲め更に莫大の土地を買収された模様である右は大正五年に資本金五萬元を以て採掘を開始したる中日實業公司の經營に係るものであるが其鐵鑛埋藏量は二百萬噸と稱せられ創立以來事業は着々有望の成績を擧げつゝあり、漢冶萍及鳳凰山を除けば北支那の鐵山中恐らく第一位であらうとされて居る然も同鐵山附近に近頃良質の大石炭脈を發見したが之は此附近を中心とする南北への鐵道と遠からぬ位置にあるのだから將來は石炭に於ても撫順炭や本溪湖炭の有力な競争者として或は之を凌駕するとも

傳へられてゐる。

●世界鋼鐵需給 昨年度に於ける全世界の銑鐵及び鐵鋼の生産額は過去數年間に比し非常なる減少を來して居る最近の米國鐵貿易評論の統計に依れば千九百二十一年度の世界總産額は銑鐵三千五百八十一萬噸、鋼鐵四千七十三萬一千噸であるが前年度の千九百二十年には銑鐵六千六十三萬五千四百噸、鋼鐵六千八百三十五萬一千噸で更に之れを戦前の(一九一三年)生産額銑鐵七千六百五十九萬四千噸、鋼鐵七千四百六十二萬九千噸に比すれば昨年及一昨年の總生産額は戦前の夫れよりも半減して居る状態である、然るに戦時中は鋼鐵の需要激増し戦時一箇年間の消費は鋼八千二百六十五萬噸に達し銑鐵も亦略同一の數量を見るに至つたが千九百十七年以後は生産不足のため需給の均衡を失して居つた、殊に中央及び東部の歐洲諸國に於ける混沌たる經濟状態と又其地方に於ける製鐵所の破壊及び佛國の戰場區域内の産業は未だ容易に恢復の見込なく又他方極東諸國及アンチポテに於ける新事業と佛領アルサス、ローレンが戦後未だ何等の復舊に着手しない状態であるから今年の銑鐵及鋼鐵の生産は更に昨年よりも著しき減少を見るならんとは一般に豫期されて居る、現在世界に於ける製鐵能力は銑鐵の七千萬噸及鋼鐵の八千萬噸を生産し得るに拘はらず昨年度に於ては全鎔鋼爐の内五割一分だけ其作業を繼續したるのみである、又米國に就て見るに千九百十六年の製鐵總額を百とすれば四十三の割合となるべく十七年以後昨年度に至る迄年々世界生産額に比し益々減少し昨年度に至つては百對三十九の割合を示して來た、斯くの如く一方に於て戦後の復舊事業の勃興に伴ひ需要増加の傾向あるに

拘はらず從來生産額の大を以て誇りし米國の減少の結果は今後歐洲大陸の生産に俟たねばならぬ。

●獨逸鐵鋼業の前途 英國鐵鋼業は戦後著しく不振に陥り殊に一昨年國內の石炭坑夫の罷業は鐵工業に大打撃を與へ同國一箇年間の生産額は僅に銑鐵六十六萬七千噸、鋼鐵七十五萬四千噸に過ぎなかつたが熔鋼爐の如きも三百基より百九基に減少したが昨年度は輸出増加及國內の需要活況を呈した結果銑鐵二百六十一萬三千噸、鋼鐵三百六十二萬五千噸で相當なる生産を見るに至つたが本年に入りては世界的經濟界不況の結果一般の需要減少と共に國內の生産も著しく減少し若し此の推移を以てすれば恐らく輸出國としての英國は今後輸入を俟たねばならぬ状態に至るであらう殊に昨年以來獨逸が鐵工業に對し非常なる努力を拂ひアルサス、ローレンを除くクラウスタール、ドルトムント、ハレー等の鑛區に對しスチンネス、クロエツナスツム、フォニツクス、ハンエル等の企業財團が組織され尙ローレン地方に散在して居る工場の賣却により財政上多大の資金を得右企業團が新にルクセンブルグ鐵工株式會社(資本金一億二千萬馬克)を買収する計畫を樹て極力戦前の輸出國として生産に努力して居るが更に戦争の結果佛國に屬したアルサス、ローレンが戦後佛國の手に依つて完全生産されないの故に資金の一部を佛國に於て支出し技術者を獨逸より派遣し佛獨協定の上合同してローレンの鑛區開發をなすべく交渉進行中であるが同鑛區は千九百十三年度千七百七十五萬四千噸の生産をなし同國生産の大部分を占め僅にルクセンブルグの六百六十萬噸が之れに亞ぐに過ぎないから若し佛獨合同のローレン開發が實現する場合には英國の鐵鋼

業は更に一段の不振を招くに至るべしと云ふ。

●鐵鋼業に於ける英獨の競争 目下の歐洲鐵鋼界には或不思議な暗流がある即ち國際的シンデケートと云ふ複雑なる問題の外に銑鐵及び鋼片の問題は今や盛に投機界注目の焦點となりつつある千九百十四年以來鋼片は製鋼品として重要な新位置を占むるに到り特に英國商人の手に莫大なる鋼片のストックが貯藏された爲め英國製鋼業者と大陸の製鋼業者との間に一種の競争惹起した程である此間にありて在歐洲の米人代理店は漸次地盤を確保するに努めた。

戰時中大砲彈丸の製造が巨大なる數に達した爲め丸棒の如き高速度鋼の製造數は驚く可き許りであつて此等が使用された後鋼片となつたものを再び熔解する爲め特に熔鑛爐が新設された程である此方法によつて英獨佛は孰れも銑鐵の製造量以上に鋼鐵を造り得た譯である蓋し鋼片は原料として優に銑鐵の代用をなし得たからである、而して英國及び佛國にては莫大なる鋼片の供給は兵器製造の中止すると共に中絶の姿となり材料としての鋼片は使用し盡された觀がある。

然し獨逸にては多少異なつた事が發生した即ちヴェルサイユ條約の結果軍需品製造機械の多大なる數量を取除く可く餘儀なくされ高速度鋼其他の特殊鋼片が獨逸に山積さるゝ事となつた、是等は再び鋼鐵となつて市場に現はれ而も其價格至極低廉なりし爲め獨逸の製造工業家は機械品の製作に當り戰後二年半の間易々として外國の競争を根柢より打破し得たのであつた然し今や之れ等の鋼片は殆んど使用し盡され銑鐵品は品薄の爲め高値唱へとなり之に加ふるに佛白伊等に對する燃料強制輸出の爲めコース亦拂底を告げ之れ等輸送の澁滯

と相俟つて獨逸製鋼品は不足を告ぐるに至つた之が反動として獨逸の製鋼業は經濟狀態の改善に伴ひ俄然復興の氣運に向ひ列國製鋼業の不振を極むる間にありて獨り巍然として活躍を續けて居る此の活躍を繼續する方法は原料品の供給を圓滑ならしむ可きである。

而も佛、白、伊、波等の戰爭の爲め荒廢に歸した土地に於ける復舊事業の進捗するに連れ莫大なる鋼片を收め得るのであるが多くは聯合國の手に歸し英國は此鋼片の大多數を所持するに至つたのである之等の手持に加ふるに最近に於て約三萬噸の鋼片が英國に向け船積され他日鐵道又は電車會社の方面にて事業を始めし場合には有利に使用さるゝのである、此趨勢を觀取せる大國殊に獨逸は噸當り六十志の呼び値にて吸收する事に努力して居る蓋し大陸製鋼家は銑鐵の飢饉を豫想し之に備へんが爲めである孰れにしても英獨の鋼片奪ひ合ひは最も興味ある事と云はねばならぬ。

●米國製鋼業復活 米國クリブランド、トラスト會社の發表せる鋼鐵界の前途豫想觀に依れば米國今後の斯界は至極有望にして一般産業界恢復の先驅を爲すものである既に財界に於て屢々説かれた如く昨年は鋼鐵界未曾有の不振を呈し生産力も一昨年比し二割の減退を示したが昨秋以來遽に好況を呈し年末小頓挫ありしも現在にては工場數の半以上は運轉さるゝに至つた之に加ふるに證券取引所に於ける製鋼鐵株が騰貴しつゝあるのは斯業復活の近きを一般投資家が豫想せる爲めであつて世界最大の製鐵中心地に於ける經濟狀態の好望を物語る有力なる證左である今鋼鐵界の強材料を擧ぐれば

(一)鋼鐵の在荷不足(二)鐵道方面の註文多く今後益々増加す

べき形勢にある事(二)製鐵品價格の低き事(四)運賃遞下の不日實現さるべき等等である過去二十年間鋼鐵は使途の多岐多端なるに連れ一般に使用さるる金屬として需要が増加する許りて殊に無數に増加する製造工業には必要缺く可からざるものとなつた従つて戦後財界不振の爲め生産額が減少するや千九百二十年には國內の最小需要額を満たす事も出来ない次第となり在庫品は一掃さるゝに至つた現今でも各種製品とも不足を訴へたるが殊に錫板、管、シート等は拂底難に苦しんで居る過去數年間鐵道方面の需要は沈滞して居たのであるが昨年度に入るや俄然増加の傾向を示し生産額の三分の一を占むるに至つた然し昨年度の新鐵道敷設哩數は僅かに四百八十五哩に過ぎず之を戦前に比すれば約十分の一にも達しない従つて鐵道方面の註文も至極少額で貨車の註文數二萬以下(戦前は年々十八萬)機關車の製造數二百二十(戦前年々二千)と云ふ次第なれば戦時中に比し増加せりと稱するも未だ重要視するに足りない而して今後の需要を觀るに鐵道業者として財界恢復の期に備へんには材料の購入を大々的に行ふ必要あり鐵道財政状態の良好なる事收入の増加鐵價の割安等は緊急に迫られた大規模買付の實現を容易ならしむるものである既に此現象は年初以來顯著にして契約濟のもの四十萬噸目下契約中のもの五十萬噸に達して居る次いで價格の點に就き觀察するに昨年度在荷拂底を告げしに拘はらず千九百十三年度の平均價格より僅かに二十八パーセントの上位にあるに過ぎず且つ運賃を除き生産費の遞下を期待し得るが故に需要の喚起を促進する點尠からず賃銀の最も高きときは戦前に比し百五十五パーセント騰貴したるが現今は五十パーセント増加し居り今

後遞下の一路を辿る可く製造能力も亦増加すべしと觀測さるのである運賃の低減は當業者の最も希望する所にして當業者の利益を得ざるは主として戦前に比し五十八パーセントも昂騰したる運賃の爲めなるを以て此の點にして改良されんか鋼鐵界の殷賑を見るべきは易々たる事である。

●**銑鐵在荷減少善後** 本邦内地に於ける銑鐵在荷は益減少し本年の持越し總高二十二萬噸は其後一二三月に六萬噸を減じ目下の在庫は十六萬噸に過ぎない有様である這は一部鐵界見直しの結果需用を昂めたのでなく各銑鐵製造業者が休戦以來の賣行不振に鑑み出銑を極度に低減した爲で毎月平均二萬噸内外の出來高に對し消費は四萬噸を下らず二萬噸以上の平均率を以て在庫品に喰入り十六萬噸の如きも今後七八月を以て全く消化し盡さるべき心細い運命に在り早くも此状態を看取した鞍山站製鐵所は其後全能力を發揮して極力需要に應ぜんと努めて居るが日を逐ふて殺倒する注文の爲非常なる繁忙を呈し遂に新規注文を謝絶するの止むなきに立至つた其處で大坂の岸本商店は印度銑鐵を同木村商店は米國銑鐵の大輸入を企圖し以て銑鐵の不足を補ふべく活躍し一方有力なる製鐵業者は八幡製鐵所在庫の銑鐵十五六萬噸を覘ひ其拂下を行はんとしてゐる様である、八幡製鐵所の銑鐵生産費は工場内四十七圓七十八錢で外に營業費十圓を見積ると五十八圓の安値に當り若し拂下可能とすれば需給調節の上にも多大の効果があらうと云はれてゐる其他各社の生産費(工場内)を示せば次の通りである。

▲釜石五十八圓 ▲輪西六十八圓 ▲鞍山八十圓 ▲米國二十二  
三弗 ▲漢陽四十圓 ▲印度二十圓